

## 地域包括支援センター等へのアンケート調査結果（速報版）

令和3年9月27日

子ども・福祉部

令和3年8月に実施した地域包括支援センターおよび在宅介護支援センターを対象にしたアンケート調査結果の主な概要は、次のとおりです。

※今回は、9月13日時点の速報値。

最終的に、9月末時点における確報値をもとに報告書を作成する予定。

## 1 回答数

- ・地域包括支援センター 51 箇所（全体：68 箇所）（回収率 75.0 %）
- ・在宅介護支援センター 24 箇所（全体：60 箇所）（回収率 41.0 %）

## 2 質問項目

## ○担当地区におけるひきこもり状態にある方の有無

- ・地域包括支援センター 「いる」 47 箇所 (92.2%)、「いない」4 箇所 (7.8%)  
ひきこもりの方 269人（うち中高年層 207人）
- ・在宅介護支援センター 「いる」 12 箇所 (50.0%)、「いない」12 箇所 (50.0%)  
ひきこもりの方 30人（うち中高年層 24人）

## ○「いる」と回答・ひきこもり状態にある方を把握する機会（複数回答）

- ・地域包括支援センター
 

ア 「関係機関からの情報提供」	72.3%
イ 「当事者の家族からの相談」	68.1%
ウ 「近隣住民からの情報提供（相談）」	55.3%
- ・在宅介護支援センター
 

ア 「当事者の家族からの相談」	50.0%
イ 「関係機関からの情報提供」	41.7%
ウ 「各世帯の見守りや安否確認時」	
「近隣住民からの情報提供」	
「介護サービス提供事業者からの情報提供」	各 16.7%

## ○ひきこもり状態にある方を知ったときの対応

- ・地域包括支援センター
  - ア 「当事者の家族からの相談を聞く」 35.3%
  - イ 「関係づくりのための訪問を行う」 21.6%
  - ウ 「当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う」  
「相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う」 各 13.7%
- ・在宅介護支援センター
  - ア 「当事者の家族からの相談を聞く」 33.3%
  - イ 「相談窓口や支援機関に対し、当事者・家族に関する情報提供を行う」 25.0%
  - ウ 「当事者・家族に対し、相談窓口や支援機関について情報提供を行う」 16.7%

## ○連携している関係機関（複数回答）

- ・地域包括支援センター
  - ア 「市役所・町役場」 70.6%
  - イ 「社会福祉協議会」 66.7%
  - ウ 「民生委員・児童委員」 62.7%
  - エ 「生活困窮者自立相談支援機関」 54.9%
  - オ 「保健所・保健センター」 49.0%
- ・在宅介護支援センター
  - ア 「民生委員・児童委員」 58.3%
  - イ 「市役所・町役場」 45.8%
  - ウ 「社会福祉協議会」 37.5%
  - エ 「医療機関」 33.3%
  - オ 「保健所・保健センター」 29.2%

## ○（中高年層向け）ひきこもり支援で困っていること（複数回答）

- ・地域包括支援センター
  - ア 「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」 82.4%
  - イ 「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」 70.6%
  - ウ 「相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる」 66.7%

エ	「当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない」	56.9%
オ	「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」	49.0%
・在宅介護支援センター		
ア	「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」	58.3%
イ	「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」	54.2%
ウ	「身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない」	45.8%
エ	「当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない」	41.7%
オ	「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」	37.5%

○（若年層向け）ひきこもり支援で困っていること（複数回答）

・地域包括支援センター		
ア	「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」	52.9%
イ	「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」	47.1%
ウ	「相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる」	39.2%
エ	「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」	37.3%
オ	「若年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」	35.3%
・在宅介護支援センター		
ア	「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」	45.8%
イ	「身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない」	37.5%
ウ	「家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない」	
	「当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない」	
	「当事者・家族が抱える悩みが多岐にわたっているため、対応に時間がかかる」	
	「若年層の当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」	各 33.3%

## ○ひきこもり支援のために必要と考える施策（複数回答）

### ・地域包括支援センター

ア	「専門的な医療支援・カウンセリング」	
	「家族支援」	各 80.4%
イ	「相談窓口の充実」	74.5%
ウ	「就労支援」	70.6%
エ	「相談窓口の周知・PR」	68.6%
オ	「居場所づくり」	66.7%

### ・在宅介護支援センター

ア	「家族支援」	79.2%
イ	「専門的な医療支援・カウンセリング」	75.0%
ウ	「相談窓口の周知・PR」	
	「居場所づくり」	各 66.7%
エ	「相談窓口の充実」	58.3%

## ○ひきこもりの状態から社会復帰した人

### ・地域包括支援センター

「知っている」23箇所（45.1%）、「知らない」28箇所（54.9%）

### ・在宅介護支援センター

「知っている」1箇所（4.2%）、「知らない」23箇所（95.8%）